

安全報告書

2022年(令和4年)版

三陸鉄道株式会社

この報告書は、鉄道事業法に基づき公表するものです。

社 員 行 動 指 針

【安全・安心の提供】

私たちは、安全の確保を最優先し、お客様に安心して利用いただける鉄道運行を行います。

【お客様の満足度の向上】

私たちは、常にお客様の視点に立って、満足いただけるサービス・商品の提供に努めます。

【地域振興への貢献】

私たちは、地域の皆様や関係機関と力を合わせ、産業振興や地域の活性化に貢献します。

【社会的責任の遂行】

私たちは、地域の一員としての自覚を持ち、明るく住みやすい社会の実現のために行動します。

【社員力の向上】

私たちは、常に問題意識を持ちながら自己研さんに努め、必要な変革に挑戦します。

目 次

1	社長からのメッセージ	1
2	安全基本方針と安全目標	
2-1	安全基本方針	2
2-2	安全目標	2
3	安全管理	
3-1	安全管理体制	3
3-2	安全管理方法	4
4	安全重点施策	
4-1	保安・防災対策	5
5	安全対策の実施状況	
5-1	防災対策	7
5-2	社員教育	9
5-3	その他	10
6	輸送の安全の実態	
6-1	運転事故等の発生状況	13
6-2	災害等の発生状況	13
7	お客様とのコミュニケーション	13

1 社長からのメッセージ

私は、2022年4月、三陸鉄道社長に就任しました。

東日本大震災津波からの復旧・復興に尽力された望月元社長や、リアス線（盛・久慈間）の一貫運行を成し遂げ、台風災害からの復旧に手腕を振われた中村前社長をはじめ、1984年4月の開業以来、徹底した安全運行に取り組んできた弊社社員、また、今もなお三陸鉄道に対する変わらぬご支援をいただいている関係各位の皆様の思いを引き継いでいきたいと考えております。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けて、遠方からの観光団体を中心にお客様が大幅に減少しました。

弊社としてはお客様の安全安心を最優先に、社員のマスク着用の徹底、オゾン発生装置やアルコール消毒液、お客様と社員との間の仕切り板の設置、車内の抗菌処理の実施、ご利用の多い列車の増結による「密」の回避等感染拡大防止に努めてまいりました。

三陸鉄道は、長引くコロナ禍の影響や沿線地域の人口減少など厳しい経営環境にありますが、地域の皆様の日常の足としての役割や多くの皆様に三陸の魅力をお伝えして三陸にお越しいただくことによる地域振興への貢献という役割を果たすため、これからも誠心誠意取り組んでまいります。

そうした取組の基本であり、鉄道事業の最大の使命である安全運行を確保し、お客様に安心していただける輸送を提供するため、弊社は、老朽化した橋梁の改修、枕木のコンクリート化、ホーム上屋の改修、通信ケーブルの更新等の工事を実施するなど事故防止に精励し、2021年度も鉄道運転事故0件、インシデント0件を継続しています。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき2021年度に実施した安全確保のための取り組みや鉄道運転事故・輸送障害の発生状況等について報告するものです。

ご一読いただき、ご意見、ご感想をお寄せくださいますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
石川 義 晃



列車による東京オリンピックの聖火リレー
(2021.6.16)



三陸国際芸術祭ラッピング車両

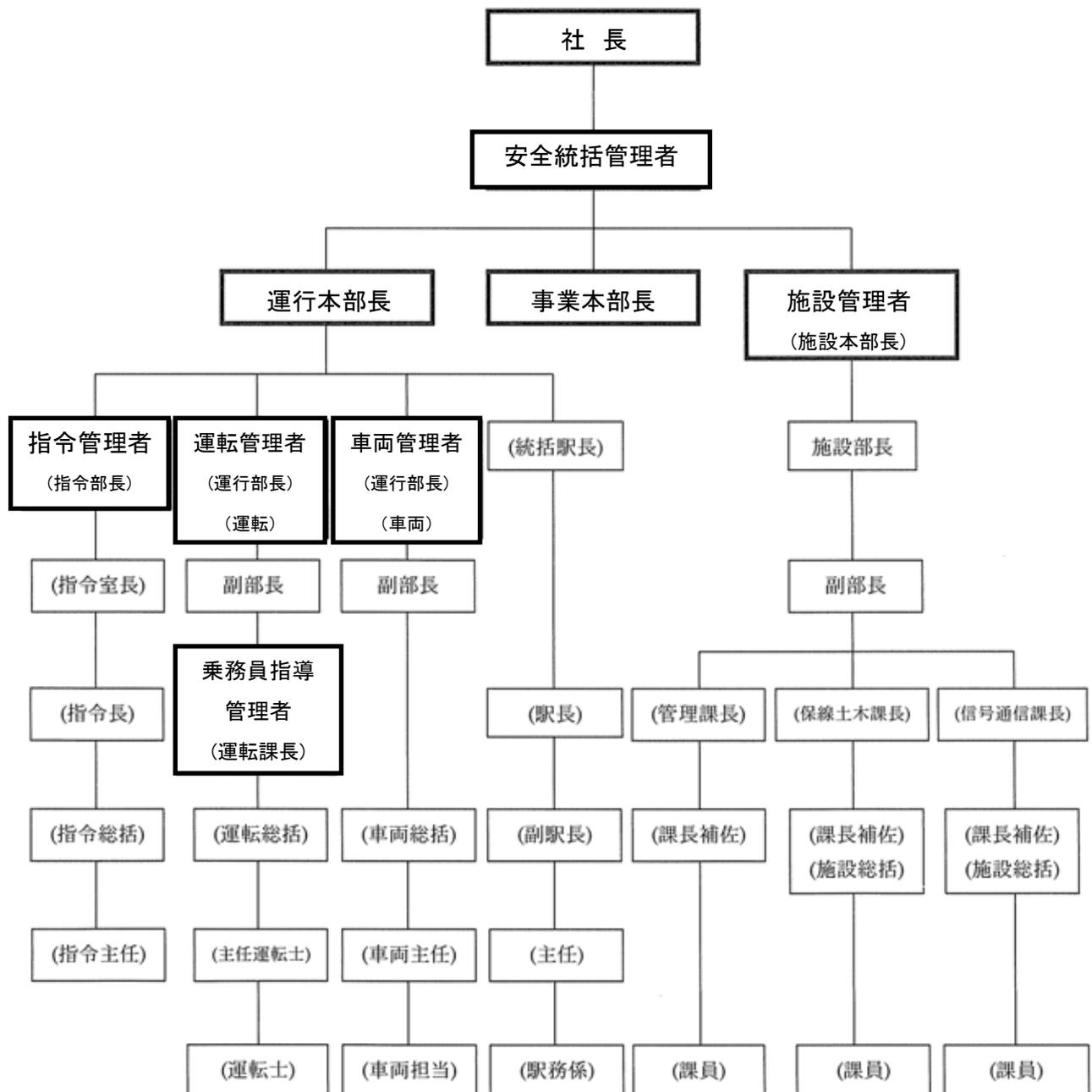
3 安全管理

3-1 安全管理体制

安全管理規程において、輸送の安全を確保するための社内の体制は安全管理体制図のとおりとなっています。

社長が選任した安全統括管理者のもとに運転管理者並びに安全を確保するための各部門の責任者を定め、その役割や権限等を定めています。

安全管理体制図



3-2 安全管理方法

(1) 安全管理委員会

安全管理委員会規則に基づき、社長・安全統括管理者・運転管理者ほか運行の安全に関する社員により構成された安全管理委員会を年に4回開催します。

(2) 安全基本方針の掲出

安全管理規程第2条に規定する安全基本方針を全職場に掲出することにより安全意識の徹底を図ります。

(3) トップによる現場巡回

社長による社員の面談を実施します。

異常時訓練会、年末年始の安全総点検等において、社長、安全統括管理者等の現場巡回を1年に3回以上実施します。



異常時取扱い訓練会における社長訓示



年末年始の輸送等に関する安全総点検で現場視察する社長

(4) ヒヤリハット事例の収集

ヒヤリハット（事故には至らなかったものの危険だと感じた事象）の報告様式を定め、社員からの報告を積極的に収集し安全管理委員会等で改善策の検討を行い、事故の未然防止に努めるとともに、安全に対する意識の向上を図ります。

4 安全重点施策

4-1 保安・防災対策

項目	内容	事業費
線路設備（橋梁）	安全性向上のため、唐丹駅～釜石駅間、白井海岸駅～堀内駅間の3橋りょうで高欄改修、断面改修工事を行いました。	5,296 千円
線路設備（枕木）	安全性向上のため、盛駅～陸前赤崎駅間、宮古駅～一の渡駅間の枕木1,668本をPC枕木に交換しました。	132,096 千円
停車場設備 （ホーム上屋）	老朽化対策として、普代駅、陸中宇部駅のホーム上屋の改修工事を行いました。	16,030 千円
保安通信設備 （通信線）	老朽化対策として、綾里駅～三陸駅間の通信ケーブル8,043mの増設、更新を行いました。	96,243 千円
保安通信設備 （列車無線）	老朽化対策として、一の渡駅～陸中野田駅間の無線基地局の変圧器更新を行いました。	12,221 千円



橋りょう改修（前）



橋りょう改修（後）



枕木PC化（前）



枕木PC化（後）



ホーム上屋改修（前）



ホーム上屋改修（後）



通信ケーブル更新（前）



通信ケーブル更新（後）



無線基地局変圧器更新（前）



無線基地局変圧器更新（後）

5 安全対策の実施状況

5-1 防災対策

○強風対策

24箇所に設置した風速計で風速を監視し、瞬間風速20m/s以上で25km/h以下の徐行運転を行い、瞬間風速25m/s以上で列車の運転を見合わせています。



三杯式風速計



風速監視装置

○降雨対策

12箇所に設置した雨量計で時間雨量、連続雨量を監視し、区間ごとに規制値を定め徐行又は運転見合わせを行っています。

河川の増水に対しても基準を設け、列車の安全を確保しています。



雨量計



雨量監視装置

○地震対策

3箇所に設置した地震計で揺れの加速度を測定し、区間ごとに規制値を定め気象庁発表のデータと併せて運転規制を行っています。



地震計



地震警報器

○防災情報システム

風速、雨量、地震の震度、河川水位、橋脚洗堀、レール温度の情報を一元管理する防災情報システムを導入。(釜石～宮古間)



○津波対策

津波発生時の避難のために15地区の津波襲来注意箇所を設定し避難場所を指定しています。避難場所への目印として避難口看板、避難路界看板を設置するとともに、津波避難階段を2箇所設置しています。



避難路看板



避難路界看板



津波避難階段

5-2 社員教育

○定例勉強会

年間計画で毎月のテーマを定め、勉強会を実施しています。

○異常時対応訓練

1年に1回(主に6月頃)、異常時(列車火災・大地震・津波・信号故障・踏切事故等)を想定した実車による訓練を実施しています。

2021年度は、走行中の列車が故障により運転継続不能になり救援列車を運転するという想定のもと、田老駅構内で「車両故障が発生した時の対処方」を実施しました。

実施日：6月25日、28日、30日



点呼



指令と故障車両運転士との打合せ



現地派遣駅長の指定



派遣駅長から運転士に伝令票等を交付



故障車両と救援列車との連結作業



訓練後の検討会

5-3 その他

○ホームにおける安全対策

ホーム上のお客様の安全確保に向けて、車内における啓発放送の実施、新設駅での内方線付点状ブロックやホーム先端注意表示の整備を進めています。

○こども110番

トラブルに巻き込まれた児童救済のための緊急避難協力所として9駅に「こども110番の駅」ステッカーを表示しています。

○交通安全運動への参加

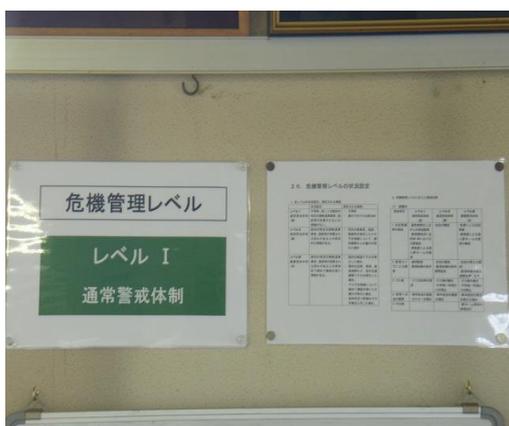
交通安全運動へ積極的に参加し、駅前などでのPR活動、踏切の安全通行に関する啓発活動などを行なっています。



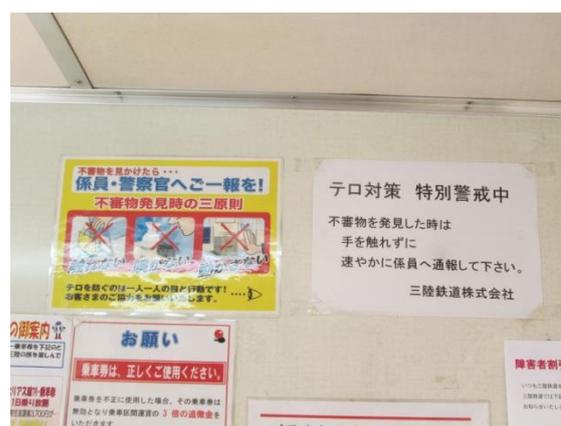
こども110番のステッカー

○テロ対策

- ・危機管理レベルを設定し、社内に掲出しています。
- ・駅、車内等に不審物発見時の対応チラシを掲出し、お客様に注意を促しています。
- ・盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に防犯カメラを設置しています。



危機管理レベルの掲出状況



車内チラシ掲出状況



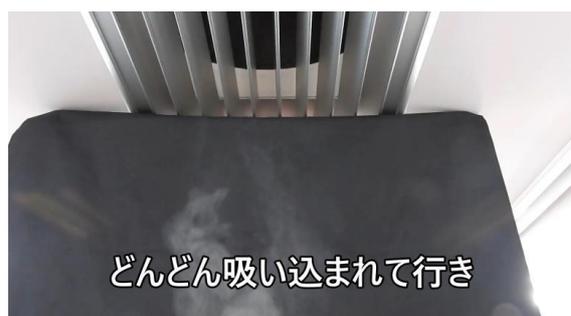
防犯カメラ設置状況

○新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、次の取り組みを実施しています。

- ・ 社員の手洗い、手指の消毒、マスク着用、咳エチケットの徹底と出勤時の体温測定実施
- ・ 駅待合室に体温測定器、消毒液を設置
- ・ 列車内は抗菌処理を施し、消毒液を設置し、運転中は常時換気を実施
- ・ お客様と社員の間には仕切りを設置
- ・ お客様に対する周知のためのポスターやチラシの掲出と案内放送の実施

・ 車内の換気



・ 車内清掃



- ・ 駅待合室や車内に消毒用アルコールの設置



- ・ 車両や駅、売店等の接客箇所に
飛沫感染防止用仕切りの設置



- ・ これまで運転士が受け取っていた切符や乗車券は、お客様に直接運賃箱へ入れていただきます



6 輸送の安全の実態

6-1 運転事故等の発生状況

○運転事故（列車火災、脱線等）の発生件数	0件
○インシデント（事故の恐れがある状況）の発生件数	0件
○輸送障害（列車の運休又は30分以上の遅延）の発生件数	
・車両又は設備が原因のもの	2件
・大雨、強風、地震、津波が原因のもの	23件
・列車支障	2件
・その他（動物等）	5件

6-2 災害等の発生状況

2021年度は大きな災害は発生しませんでした。

7 お客様とのコミュニケーション

- 当社ホームページにおいて会社概要、列車時刻、運賃などをご案内しています。
ホームページアドレス <http://www.sanrikutetsudou.com>
- 三鉄アプリで列車の位置情報をお知らせしています。
- 盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に声の箱を設置して、お客様からのご意見を頂戴しています。

2022年7月
三陸鉄道株式会社
〒027-0076 岩手県宮古市栄町4番地
Tel 0193-62-8900
Fax 0193-63-2611